

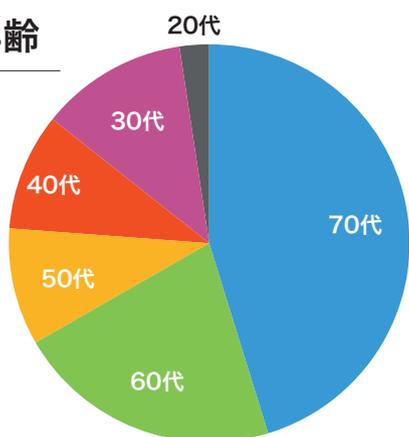


鞭馬公直さんの田んぼで、中原小38名全員が鎌を使って稲刈りを体験。上級生が下級生を手助けしながら全員で頑張って刈り取りました。

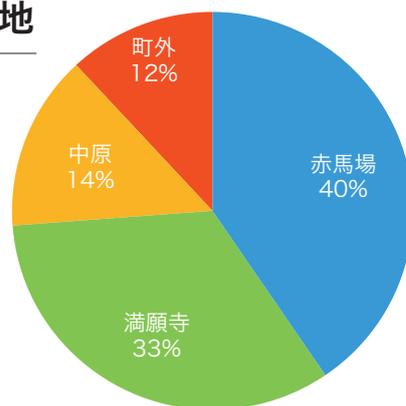
読者アンケート結果報告

8月5日～9月30日までに行いました議会広報の読者アンケートでは、42通の返信をいただきました。ご意見、ご感想、アイデア、ご要望をたくさんお寄せいただき、ありがとうございました。皆さまのお声は今後の議会広報作りに活用させていただきますと共に、議員全員に、必要なものは担当課にも共有させていただきました。アンケート結果とお寄せいただいたお声を一部ご紹介します。

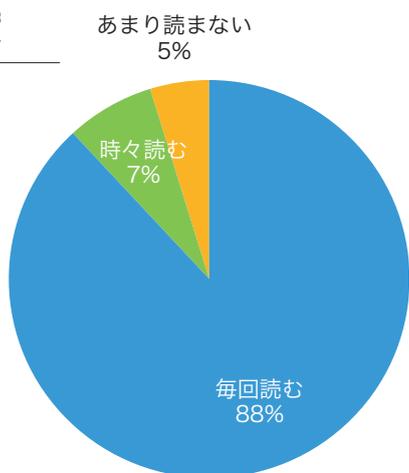
回答者の年齢



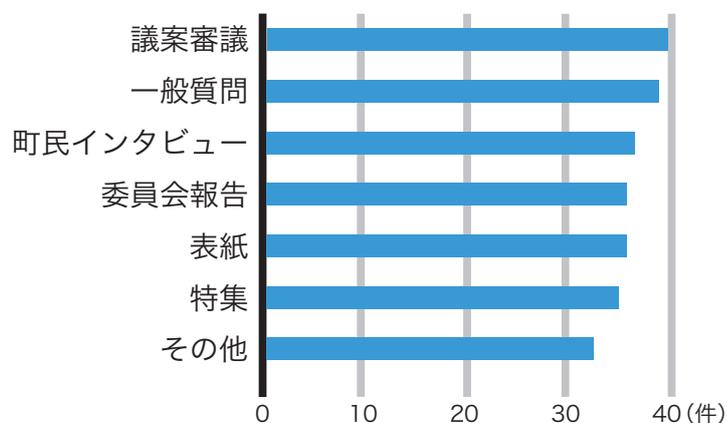
回答者の居住地



読む頻度



読んでいるコーナー



今後載せて欲しいこと・特集へのアイデア



※1：南小国町夢チャレンジ推進事業補助金 ※2：南小国町「日本で最も美しい村」づくり事業補助金

議会広報へのご意見・ご感想

目新しい話題を取材して各方面から町民に公表してくれるので、とっても楽しみです。

他市町ですので広報を読む機会はありませんが、御町のLINEで情報を見させていただいています。

議員の活動が町民には見えませんでしたでしたが、初めて見えました。
議員定数を9議席にしたのが良かったです。

広報の体裁が古い（昭和の自治体広報的）ので、もう少し紙面として読みやすくする工夫をして欲しいです。

とても分かりやすく、表紙や裏表紙もカラーで読みやすいです。読者アンケートはとっても良かったです。

町営住宅入居希望者は多くいるようですが、一方で職員住宅は余っている様に思えます。町内にあるものを上手に使う方法はないのでしょうか。

議員はどうやって町民の声を集めているのか分かりません。常に町民の声を知るために、このようなアンケート等を継続的に行うのが良いのではと思います。

北里和教氏、感心しました。

非常に読みづらい。体裁が悪く、読んでもらおうという気概を感じない。
議員の詳細な活動内容を知らないのに定数も3~5人で充分だと思っている。

各議員は町に対して、質問に加え、提案のウエイトを高めて欲しい。

昔に比べ、内容が充実しており、表紙もとても良いと思って読んでいます。
5月号の一般質問でも上がっていました通学路の安全点検をお願いします。

一般質問が年内に町執行において、どのように実現されたのか等、質問の言いっぱなしでなく、検証結果を載せて欲しい。

なぜ議員定数を削減するのか疑問に思います。町民が望んでいるのは町民の声を届ける仕事ができる議員で、仕事をしない議員に辞めていただくことだと思います。

一般質問の際、答弁者から「検討します」「取り組みます」と多々ありますが、その後どうなったのでしょうか。議員は追及して結論を出して欲しいです。



9月より一般質問の検討結果を町ホームページに公表しております。ぜひご確認ください。

令和4年7月
第2回臨時会

●補正予算

◆一般会計補正予算(第3号)

主な審議

○公有財産の購入

▼佐藤議員 県営教職員住宅購入後の利用は。また各課で住宅を整備していると思うが、空いてる部分を活用できないか。

▽まちづくり課長 移住定

住関係の住宅として利活用を予定。各課それぞれ目的を持った住宅となる。目的外使用は難しいと考える。

○財産収入

▼井野議員 町有原野貸付の場所はどこか。部分林の売払収入の場所と立米数等は。

▽総務課長 赤谷の上田第

一牧野組合管理の原野。部分林は本町造林組合は553㎡、差引き176万円。下町造林組合は357㎡、104万円。滝の口黄川梅の木堂造林組合は1063㎡、395万円を見込んでいる。

●町有財産の売払い

◆深久保町有林

所在地 字深久保5577

主な審議

▼穴井千秋議員 売却に至った経緯は。売却金額算定の根拠は。

▽総務課長 隣接者(契約の相手方)からの申し出によるもの。算定額は南小国町普通財産処分事務取扱要綱による。(評価額単価×面積×修正率) (原案可決)

●物品購入契約の締結

◆小型動力ポンプ付積載車

契約金額 836万円

契約の相手方 野々村ポンプ(株)

主な審議

▼井野議員 備品等の再利用は。

▽総務課長 消防各部の方

で管理、使用している。

◆南小国町ケーブルテレビ

放送センター施設内自主放送送出設備及び無停電電源設備

契約金額 1546万円

契約の相手方 (株)九電工熊本支店

主な審議

▼佐藤議員 無停電電源設備のバックアップの時間は。

面積 1万8400㎡
売却額 15万7700円
契約の相手方 北里和教氏

▽まちづくり課長 10分程度。この間に非常用電源の発電機に切り替わる。発電機に切り替わる瞬時の時間をカバーするための無停電電源措置となる。

原案可決

補正予算 主な事業 (万円)

一般会計(第3号)	原案可決
備品購入費(役場窓口用会話補助器)	75
部分林地元交付金	420
町有原野貸付に伴う地元交付金	14
県営教職員住宅購入費	163
農業水利施設保全整備事業補助金	431
りんどうヶ丘小学校空調設備工事	30

令和4年9月
第3回定例会

●補正予算

◆一般会計補正予算(第4号)

主な審議

○観光振興プレミアム付商品券発行事業補助金

▼森永議員 今回プレミアム分3000円に、さらに1000円分の農産品が追

加になっているがその理由及び販売時期は。また様々な商品券が発行されているが、その後の検証は。

▽町民課長 9月12日現在で2回目接種率86・8%、3回目接種率73・5%、4回目接種率は36・1%。(令和3年1月1日現在の人口、3927人がベース)

▼佐藤議員 コールセンター延長に伴う委託期間は。年度末までの6ヶ月分を予算計上。

▽まちづくり課長 販売時期は、観光協会と十分協議しながら進めていく。新型コロナウイルスの影響がまだまだある。詳細な検証、分析は行っていないが、販売実績等を見ると一定の効果は上がっていると思う。

▼佐藤議員 農産品の商品券1000円分はどこで使用できるのか。

▽まちづくり課長 1000円分のプレミアムで農産品を追加することについては、事前に準備し、商品券を購入しに來られた時に、その場でお渡しする形をとりたい。

○新型コロナウイルスワクチン接種関係委託料

▼穴井則之議員 町内の接種状況は。

○りんどうヶ丘小学校修繕

料

▼井野議員 消防設備の修繕とのことだが、緊急性はないのか、子どもたちへの支障はないのか。

▽教育委員会事務局長 8月の点検時に判明した。自動受信機に不安定な部分が見られ、不具合が起こる前に交換修繕を行うもの。

○県営教職員住宅の改修

▼佐藤議員 改修の内容は。使用料や敷金はどのよ

南小国町コールセンター

◎受付時間◎
平日 午前9時～午後5時

◎電話番号◎
☎ 0967-25-6700

補正予算 主な事業 (万円)	
一般会計 (第4号)	原案可決
財政調整基金積立金	2億927
修繕料 (県営教職員住宅他)	824
予防接種委託料	1617
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業対応業務委託料	215
特別会計繰出金 (5会計)	△729
農地農業用施設災害復旧工事補助金	500
測量設計委託料 (四分一頭首工)	350
住宅リフォーム助成事業補助金	50
南小国町町民向け飲食券補助金	943
プレミアム付商品券発行事業補助金	1260
道路メンテナンス事業委託料	280
修繕料 (りんどうヶ丘小学校)	220
国民健康保険特別会計 (第1号)	原案可決
準備基金積立金	194
後期高齢者医療特別会計 (第2号)	原案可決
一般会計繰出金	33
介護保険特別会計 (第2号)	原案可決
準備基金積立金	1141
水道事業特別会計 (第2号)	原案可決
基金積立金	357
農業集落排水事業特別会計 (第1号)	原案可決
マンホールポンプ修繕料	130
特定地域生活排水処理事業特別会計 (第1号)	原案可決
基金積立金	53
公共下水道事業特別会計 (第2号)	原案可決
基金積立金	495



購入予定の県営教職員住宅(杉田)

うに考えているのか。
▽まちづくり課長 現在、県の方で購入の手続きを進めている。老朽化も進んでおり、現在の住居様式に合わせたフローリング化や水回りの改修も必要。改修費

は一棟あたり200万円、4棟で800万円を計上。使用料や敷金については、既存のまちづくり住宅や公営住宅等を考慮して移住定住者に過度な負担とならないように設定したい。

●条例制定・改正
◆南小国町認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例
※地縁団体の利便性の増進と取引の安全を図るもの。

原案可決
◆南小国町議会議員及び南小国町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

※お金のかからない選挙を実現するとともに、立候補の機会や候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、一定の範囲で町が選挙運動費用の一部を公費で負担するもの。

原案可決
◆職員の育児休業等に関する条例の改正

主な審議
▼森永議員 育児休暇の取得者数と今後の目標は。男性職員の育児取得率を高める体制づくりを。

▽総務課長 現在、育児者が2名、産休者が2名。目標数値等は設けていないが職員に対して積極的に取得

推進をしていきたい。配偶者が出産した場合は、男性職員本人に対して育児休暇を取得するように周知していきたい。

原案可決
●委員の選任
◆固定資産評価審査委員会委員の選任
落見 佐藤 亨 氏

同意
●陳情
◆中国共産党による臓器収奪の即時停止並びに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情
配布のみ

●令和3年度決算
◆一般会計歳入歳出決算書、特別会計歳入歳出決算書(7会計)

主な審議
○町税等滞納状況
▼佐藤議員 町税関係で収入未済額に延滞税、督促料を含めた総額は。また収入につなげる各課の取組は。
▽税務課長 町民税(未済額242万円・総額667万円)、固定資産税(未済額463万円・総額1105万円)、軽自動車税(未済額66万円・総額100万円)、国保税(未済額777万円・総額2339万円)。

取り組みについては、滞納が発生した場合はまず、督促・催告を行い、それでも納入が無い場合は自宅訪問や差押え等を行っている。払うお金があつて払わない方については断固たる措置をとっている。

▽各課・局長 債権管理条例を踏まえ、税務課と連携を取りながら進めている。

▼佐藤議員 滞納が発生した初期の段階で、早期に対応し滞納額がないように、減額できるように取り組んでいただきたい。

○電気自動車用急速充電器
▼井上議員 今後、EV車が増えてくる。現状の設置台数は。委託料が116万円出ているが、収入は。

▽まちづくり課長 現在3箇所(きよらカアサ・黒川温泉旅館組合駐車場・瀬の本県営駐車場)。電気自動車用急速充電器維持費用として195万円歳入としてあがっている、これを保安委託料等の維持管理経費に充当している。

認定
◆健全化判断比率及び資金不足比率

令和3年度 決算認定

一般会計決算

歳入 65億8201万円

科目	金額
地方交付税	22億2819万円
寄付金	9億7403万円
国庫支出金	7億4782万円
繰越金	6億9220万円
県支出金	4億5488万円
町税	3億7158万円
繰入金	3億6326万円
町債	2億2394万円
分担金及び負担金	1億5982万円
地方消費税交付金	9886万円
地方譲与税	7722万円
使用料及び手数料	6672万円
地方特例交付金	5220万円
諸収入	3486万円
財産収入	2628万円
環境性能割交付金	407万円
法人事業税交付金	353万円
株式等譲渡所得割交付金	160万円
配当割交付金	79万円
利子割交付金	17万円

歳出 59億3725万円

歳出区分	金額
総務費	24億1929万円
民生費	8億2064万円
衛生費	6億1486万円
災害復旧費	4億7352万円
農林水産業費	3億9117万円
公債費	3億1722万円
教育費	2億8841万円
土木費	2億6443万円
商工費	1億5362万円
消防費	1億3485万円
議会費	5923万円

令和3年度一般会計は、歳入総額**65億8201万円**から歳出総額**59億3725万円**を差し引くと**6億4476万円**となります。差引額の中に翌年度への繰越財源として**1億8623万円**が含まれているので、これを差し引いた**4億5853万円**が黒字となり、翌年度に繰り越されました。

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	収支額
国民健康保険特別会計	6億2436万円	6億1048万円	1388万円
後期高齢者医療特別会計	6230万円	6198万円	33万円
介護保険特別会計	6億5048万円	6億3147万円	1901万円
水道事業特別会計	1億5967万円	1億5254万円	713万円
農業集落排水事業特別会計	3179万円	2942万円	237万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2086万円	1980万円	105万円
公共下水道事業特別会計	1億4377万円	1億3812万円	565万円
合計	16億9322万円	16億4380万円	4942万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

こんなことに使われました

令和3年度に実施された主な事業は、次のとおりです。

庁舎別館建設工事

1億3738万円

(総務費)



LED投光器備品購入

1482万円

(消防費)



農協跡地購入事業

8313万円

(総務費)



ふるさと納税事業

5億2539万

(総務費)



町民向け商品券

3945万円

(商工費)



町道改良工事

5980万円

(土木費)



地籍調査事業

5258万円

(総務費)



公共土木災害復旧工事

2億8502万円

(災害復旧費)



農地等災害復旧工事

1億4671万円

(災害復旧費)



町民向け宿泊券・飲食券

1584万円

(商工費)



りん小校舎改修工事

4607万円

(教育費)



予防接種委託料

3167万円

(衛生費)



強い農業・担い手づくり 総合支援交付金

2767万円

(農林水産業費)



くまもと間伐材利活用 推進事業補助金

1770万円

(農林水産業費)



子育て世帯臨時特別 給付金

5360万円

(民生費)



住民税非課税世帯等 臨時特別給付金

5210万円

(民生費)



令和3年度末基金残高

基金名	前年度末残高	増減額	3年度末残高
財政調整基金	8億7523万円	5億5677万円	14億3200万円
ふるさと納税基金	4億7714万円	1億4292万円	6億2006万円
地域福祉基金	1億6211万円	△157万円	1億6054万円
きよらの郷づくり基金	1億5274万円	0万円	1億5274万円
ケーブルテレビ放送設備等整備基金	7328万円	1318万円	8646万円
国民健康保険療養給付費支払基金	1億125万円	△2395万円	7730万円
介護給付費準備基金	4597万円	346万円	4943万円
公共下水道事業基金	3012万円	484万円	3496万円
防災対策基金	3483万円	△429万円	3054万円
森林環境譲与税基金	1881万円	1064万円	2945万円
水道会計財政基金	987万円	442万円	1429万円
農業集落排水事業基金	868万円	181万円	1049万円
特定地域生活排水事業基金	483万円	75万円	558万円
減債基金	469万円	0万円	469万円
中山間ふるさと・水と土保全対策基金	209万円	0万円	209万円
学校給食センター基金	100万円	68万円	168万円
土地開発基金	5136万円	△5136万円	0円
合 計	20億5400万円	6億5830万円	27億1230万円

監査委員による決算審査意見書の抜粋

代表監査委員 石橋正寿

議選監査委員 井野和哉

- ①財政健全化審査について、経常収支比率、実質公債費比率とも減少し、将来負担比率については2年連続比率がゼロとなった。令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害に対する様々な対策や施策がとられてきた。これは令和4年度においても、同様になると思われる。国の財政支援やふるさと納税も先行き不透明な部分もある。今後も個々の要因を分析し、抑制に向けた適正な財政管理を行っていただきたい。
- ②税と保険料・使用料及び負担金等の徴収については、前年度に引き続き滞納額が無かった費目がある。これは、担当職員の日頃の努力は基より、担当課・局間の横の連携がうまく図られているものと評価する。悪質な滞納者については法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化をお願いするとともに、少額滞納者には滞納額が増える前に、口座振替制度などを積極的に推進してもらいたい。また、コロナ禍による収入減や経営状況の悪化、減免額の増などにより、収納

額、収納率の低下が見られる。今まで以上の担当課・局間の連携に期待する。

- ③歳出に多額の不用額が見受けられる。限られた財源の中、新型コロナウイルス感染症対策などに有効活用するためにも、実施困難となったものなど早めの対応が可能なものは、年度途中の減額補正など、適切な財政処理を望む。
- ④職員の不適切な事務処理により、町の財政に影響を与えた事案が発生した。このことを踏まえ、指導監督の徹底をお願いしたい。伝票監査において、納品書、請求書等の不備や決裁印の漏れが見受けられた。確認体制の強化を徹底し、事務処理ミスの防止に努めてもらいたい。
- ⑤令和2年7月豪雨災害の対応に加え、新型コロナウイルス感染症対策の様々な事業も継続され、職員の負担も増加しているように思われる。専門職員の確保等、職員の業務負担に対する対策を講じていただきながら、一日も早い復旧・復興、新型コロナウイルス感染症の終息を願う。

Q 農協跡地再開発への動きは？

A 時間を掛けて進めていく

【議員】農協跡地に関して
は町民の一番の関心事で
は。今後の予定はどうなっ
ている。

【町長】町民アンケートを
再度実施する。負の遺産と
ならぬよう時間をいただき
ながら進めたい。

【議員】アンケートの実施
の時期、対象、結果の公表
方法は。アンケート内容に
ついては全町民に開示して
欲しい。また役場職員への

意見聴取も必要かと。

【町長】年内に実施し結果
も公表したい。対象は各年
代ごとに行いたい。結果は
広報誌等を利用し公表す
る。対象者以外への開示は
必要。意見を吸い上げられ
るよう準備もする。職員へ
の意見聴取はやる必要があ
る。



佐藤 毅 議員

Q グループホーム森園の譲受けは？

A 前向きに協議を重ねていく

【議員】町や社協への売却
の話があると伺っている。
購入し地域福祉の充実のた
めに活用すべき。

【町長】小国町社協から相
談が寄せられた。社協とも
協議を重ねている。資金、
人材の確保等、課題も多い。

【議員】町長の決断で良い
方向に向かうように期待す
る。社協内では、機能訓練
やりハビリ、スポーツジム
やeスポーツ等を検討して
いるようで町民の幸福度向
上につながる予感がする
が。

【福祉課長】町に足りない
サービスができればと思っ
ている。eスポーツは多世
代交流や認知症対策にも有
効。今後も協議を続ける。

【議員】温泉館きよらも近
くにあり、将来的には高齢
者住宅も整備して、りんご
う庄周辺一帯を福祉拠点と
しては。

【町長】温泉や福祉施設が
近隣にあることで、安心感
が生まれる。一つの大きな
選択肢だと認識している。



井上 則臣 議員

Q 農業再生機構の設立を！

A 他町村の農業公社等を参考に協議・検討していく

【議員】先達から引き継いだ
大事な農地を守り、生産し
ていくことは私たちの責務
だと思いが、担い手不足の
今、官民一体で縦軸である
農地再生機構がつくれない
か。営農者(横軸)は人手不
足、担い手不足と諸問題を
抱えているが、町としてど
のような対策が有るのか。

【町長】飼料・燃料費高騰
対策補助金の受付を9月よ
り始めている。本町の営農
体系の整備を進める必要が
あり、南阿蘇村の農業公社
等を参考にしながら設立し
た場合の在り方を協議検討
していきたい。また横軸(家
族経営)を支援し、縦軸(組
織)への展開を広げていき
たい。

【議員】営農が横軸とすれ
ば、管理・整備は縦軸が担
う分は大きいと思う。法人
化も考慮しながら農地を守
る体制を早急にお願いた
い。

【農林課長】今、波居原地
区において、地元の方々に
大変ご苦労をいただき、J
A・役場・県と一緒に



就農相談会の様子

会合を重ね法人化に向けて
最終段階に入っている。ま
た、新規就農コーディネー
ター等導入に向け、企画書
等を作成し準備に入ってい
る。新たな形で担い手をつ
くり活用していきたい。



波居原地区法人化説明会の様子

Q 認知症の早期発見を！

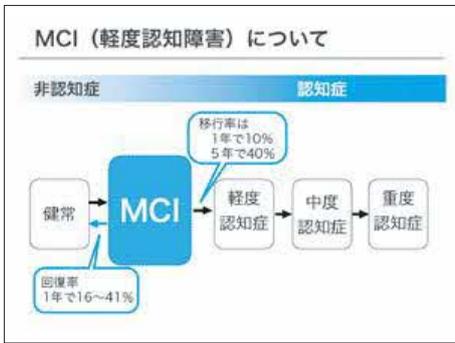


森永 一美 議員

A 認知症ケアパスを作成予定

【議員】認知症は早期発見・治療が有効的である。「健康」と「認知症」の間にあるMCI（認知機能障害）では、健康状態への回復も一定割合で見込める。MCIの早期発見に注力しては。①高齢者向けにMCIチェックシート活用。②MCIの周知としては。

【町長】認知症ケアパス（状態に応じたサービスの流れをまとめた物。MCIチェックシートの内容を含む）を作成し、各世帯へ配布予定。



【福祉課長】町民が理解でき、MCIチェックシートの内容も入ったパンフレットを作成し配布したい。

Q 観光関連の未来に向けた動きを！

A 一歩ずつ取り組みを進めていく

【議員】本町の観光関連産業は経済や雇用等大きな役割を担っているが、人手不足ゆえに一部ではサービス見直しや供給制限が起きている。本町の人口問題を考えると、将来は人手不足が一層深刻化すると思われる。未来を見据えた施策を今、用意する必要があるのでは。

①観光基本計画を策定しては。

②人材確保に向けて、都会のひとり親世帯の方に仕事を含めた移住を呼びかけては。子どもの貧困問題解消にも繋がるのでは。

【町長】①関係機関と協議し、策定に向けて取り組む。【まちづくり課長】②子育て世帯が南小国に魅力を感じるような施策を充実させ、各課連携し、移住定住を一歩ずつ進めたい。

Q 町有林の管理及び整備について！

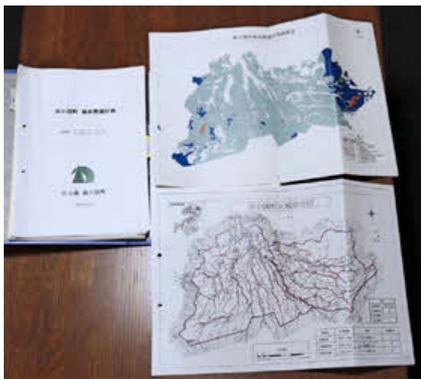


穴井 千秋 議員

A 森林整備計画に基づき、有効資源が活用できるよう取り組む

【議員】先の7月臨時議会で町有財産の売払いが可決されたが、金額的なことだけでなく、色々と問題点がある。町長の考えを聞きたい。

【町長】町全体の林野面積は9289ヘクタールで町総面積の80%を占めている。直接町が管理しているのが254ヘクタールで林野面積の3%を占めている。全てを整備するには時間と予算を必要とするので、森林整備にもつながると思い、森林経営に意欲のある隣接所有者に売払いをしたもの。森林整備計画に基づき、有効資源が活用できるように取り組む。



南小国町 森林整備計画

【議員】なぜ9月定例会でなく、臨時議会だったのか。売払いは町長の判断でなく、町有財産評価委員（仮称）などの基準がつけられなかったのか。

【総務課長】売払契約が6月末に行ったので、7月臨時議会にて行った。今回の処分については南小国町普通財産処分等事務取扱要綱に基づいて行った。普通財産を処分するのに評価員が必要であれば検討したい。



経済建設常任委員会 町有林視察の様子(R3年度)

Q 町の公共施設、今後どう維持していく？



井野 和哉 議員

A 公共施設総合管理計画に基づき取り組んでいく

【議員】町内には多数の公共施設があり、維持費もかなりかかっている。今後を考えると、思いきった施策も必要なのでは。

【町長】町内には70の公共施設があり、用途が重複している施設、稼働率の低い施設の統合整理を検討し、経費削減へ向けて取り組む。

【議員】管理センターは、5月から利用を休止しているが、水道光熱費など経費がかかっている。

【町長】管理センターは耐震基準も満たしておらず、早めの解体を考えている。

【議員】役場庁舎も、多額の電気代がかかっている。ソーラーパネルを設置して、経費を抑えては。

【町長】当初設置の予定がなく、屋根の強度や蓄電システムなど、関係業者から情報を集め、できることがあれば相談させていただく。

Q 町主催でスマホ教室はできないか？

A 他町村の実施状況を調査し、関係各局と協議する

【議員】携帯各社は順次3Gサービスを終了し、スマホ所有の方が増えている。ただ、操作が複雑で、使い方など気軽に相談できる場があれば助かると思うが。

【町長】町も行政サービスの情報をLINEで配信するようにになり、スマホの利便性の向上も考え、他の自治体のやり方を参考に、町としての対応を考えていく。

【議員】スマホは元より、パソコンの使い方など、大人対象の「きよら塾」開催の考えはないか。

【教育委員会事務局長】高校生や中学生が講師になって、聞きやすい環境や繰り返しできる環境で進められたいと思うが、具体的な予定はない。

【まちづくり課長】ケーブルテレビを活用して、使用方の情報発信などができればと思う。

令和4年 議会日誌

8月	10	県町村議長会第2回理事会(オンライン会議)
	24	県町村議長会正副議長研修会
	25	経済建設常任委員会
9月	6	議会運営委員会
	9	熊日金婚夫婦表彰式
	13~14	第3回定例会
	15	議会広報調査対策特別委員会
	21	全国町村議会広報研修会 (写真①)
10月	27	小国公立病院議会
	28	秋の全国交通安全運動街頭指導
	2	「きよらの郷」防犯少年柔道大会
	3	市町村総合事務組合議会定例会
	4	県町村議長会議員研修会 (写真②)
	6	県町村議長会理事・郡事務局長合同会議(オンライン会議)
	11	阿蘇広域議会運営委員会
	14	在熊阿蘇ふるさとの会「かたらんネ！阿蘇2022」
	15	やまびこふれあいフェスタ
	16	きよら祭り
	18	北海道鶴居村議会行政視察 (写真③)
19	議会広報調査対策特別委員会	
21	阿蘇広域議会定例会	
24	阿蘇市町村議会議員研修会	
25	議会広報調査対策特別委員会	



写真①



写真②



写真③

阿南 誠志さん

南小国を“日本で最も美しい”と感じられる様に…
町を美しくすべく仲間と共に美化活動実践中!



プロフィール

高森町生まれ、瀬の本在住。登山専門店シェルパの創業者であり現会長。今年4月、美しい村補助金※を活用し「南小国町ボランティア行動隊（以後：行動隊）」を仲間と立ち上げ、月1回国道のゴミ拾いを、週1回河川沿いの草刈り活動をしている。

※美しい村補助金＝南小国町「日本で最も美しい村」づくり事業補助金の略

…南小国に住むようになったキッカケは何ですか？

瀬の本ユースホステルの運営をして欲しいと相談をいただいたことです。私の登山人生は15歳の時に登った久住山から全てが始まっています。瀬の本は久住山の麓にあり、自然の美しさ素晴らしさを24時間365日感じられます。こんな場所は二つとないと、経営を引き継ぎました。

…行動隊を立ち上げられた経緯を教えてください

瀬の本という最高の地に住まわせてもらえていることへのお礼ができないか、地域に対して何ができるだろうかと考えていました。

私は50年ほど前から仲間と一緒に登山道のゴミ拾い活動をしていました。当時は登山者が何でも捨てていました。活動を続けたことで登山者のマナーも向上し、今では登山道でゴミを見ることはほぼありません。一方で道路には未だゴミが捨てられています。南小国の玄関口とも言える国道212



国道212号線のゴミ拾いは、毎月第2火曜日10時から11時半頃まで



役場近くの河川沿いの草刈りは毎週木曜日17時から1時間ほど

号線もそうです。212号線にゴミが落ちてなければ通る人は気持ちが良いだろうなあとと思い、仲間と共に美化活動をする行動隊を立ち上げました。

…実際に美しい村補助金を使われてみていかがでしたか？

補助は有難いです。しかし、景観や環境を守る収益を生まない活動に関しては、10割補助であって欲しいです。収益を生む事業は5割や8割の補助があることで挑戦を後押しし、事業確立に繋がりますが、環境美化・景観保持のボランティア活動は収益を生み出しません。活動を継続させるためにも手出しをせずに済む10割補助を検討していただきたいです。

…今後の展望を教えてください

日本で最も美しい村連合に加盟している南小国が名実ともに「日本で最も美しい」町となるべく、今後も活動を継続していきたいです。ご興味のある方は一度だけでも活動に参加いただくと嬉しいです。

取材・文・写真：森永一美

編集後記

今年は何年より早く、中秋の名月を迎えました。まだ薄の穂も十分開ききっていない中、天気も少し心配されていましたが、キレイな満月を拝むことができました。

我が家の庭先にも、十五夜のお供えを引きに来た子供たちの声も聞こえ、久しぶりに賑やかな秋の夜となりました。このような古き良き風習が、これからも続いていけばと思います。

出生数が伸びない中、幼い子供たちが命を落とす事例が後をたちません。一人出かけて川に流されて命を落とした子や送迎バスの中に取り残されて命を落とした子どもなど、家族にとってはいたたまれない事件が数多く起きています。大人がもう少し気をつければ防げる事も数多くあり、町内においてもいかに子供たちを守っていくのか、子供たちの安心安全のために何をすべきかを、家庭・地域・行政が共に連携して、子供たちの成長を見守っていかねければなりません。

(井野 和哉)

発行責任者

議長 平野 昭夫

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井上 則臣

委員 井野 和哉

委員 佐藤 毅